

# 学校関係者評価報告書

奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校

1. 学校関係者評価実施日 平成 31 年 2 月 7 日 (木)

2. 評価者名 犬丸理絵、木村知美、高橋亜紀、林美幸、筒井啓美、西岡祐子  
進藤美幸、山川賀子

3. 評価結果

1 学期及び 2 学期に実施した保護者アンケート結果に基づきご意見を頂戴した。中高においてはアンケートの回収率が低いことが課題であり 1 回目は 38.9%、2 回目は 18.9%となっている。その中でも特に留意しなければならない意見は以下のとおりである。

(大項目) I 教育活動に関するもの

(中項目) (6) 生徒指導

- ・学校に「いじめ防止基本方針」があることを知らなかったし、学校から説明も受けていない。保護者と生徒に対して、きっちりと説明していただきたい。
- ・子どものクラスにいじめがないと聞いていたので「当てはまる」に回答した。反対にいじめがあると聞いている場合は「不十分」と回答しているのではないか。学校がどのようないじめ対策の取り組みをされているのかを情報提供していただくことによって判断も変わってくるのではないか。
- ・いじめのアンケートを実施しているが、その結果に問題事象が見られた場合、どの様にフィードバックされるのか教えていただきたい。
- ・プライバシー保護の関係から難しいのかも知れないが、持ち物検査をもう少し実施された方が良い。登下校中にスマートフォンを使用している生徒も多いと聞く。
- ・生徒心得を見ても、何が良くて何が悪いのか判断できないことが多い。先生による対応の違いもある。また、P 段階や小学校段階では厳しく指導されていたことが、中高では指導対象にならないこともあり、子ども達も戸惑っているのではないか。
- ・服装についてももっと厳しく指導いただいても良いのではないか。学校の方針に賛同して入学しているため校風に合った服装について指導することも良いと思われる。
- ・掲示板のインターエデュや 2ちゃんねるなどには、間違った情報なのかもしれないが内部的なことを投稿されているケースが見られる。勿論、子ども達への情報教育も重要であるが、これら投稿に対して学校として対応しないのか。
- ・スクールガーディアンによる SNS の監視など学校が取り組まれていることをはじめて伺った。このような情報も保護者に提供いただけると印象も改善すると考える。